

第 26 回全港湾青年対策交流集会

九州青年部部長

小峠 暲

2026 年 2 月 21 日から 23 日にかけて愛知県豊橋市ホテルシーパレスにて第 26 回全港湾青年対策交流集会が行われました。

まず初めに主催地方の関東の青年部長から挨拶があり、中央執行委員長挨拶では鈴木誠一中央執行委員長から挨拶をもらいました。

次の各地方活動報告では、北海道から沖縄までの地方の活動報告がありました。そして中央本部オルグ「各協定について」では中央松永書記長に講師になってもらい、松永書記長が作成してくださった資料をもとに 36 協定、産別協定についてわかりやすく講義をしてくださいました。講義終了後、各班に分かれ分散会をおこない 1 日目が終了しました。

2 日目は講義「災害時における港湾事業者について」では中央青年対策の千葉中執に講師になってもらい、2011 年 3 月 11 日に起きた東北地震の実体験をもとに被災当時の体験談や災害時はどういった行動を取るべきなのか、メディアでは報道されない被災地の声などを教えてもらいました。

講義終了後、各班にわかれ分散会をおこない、昼食後、分散会で質疑を行いました。そしてレクリエーションドッジボールをおこない夕食懇親会があり 2 日目が終了しました。

3 日目分散会発表ではこの二日間のオルグ、講義を受け各班での感想をまとめ発表しました。次回開催地方発表では、日本海地方に決定し、中央本部統括があり、最後の団結がんばろでは日本海地方の青年部長が行い、第 26 回全港湾青年対策交流集会が終了しました。

この 3 日間を通しての感想ですが、初日に行われたオルグ「各協定について」では本当に無知な自分が恥ずかしかったです、36 協定、産別協定という言葉は知っていましたが、中身の事はあまり理解していなく、各協定の重要さ我々労働者は協定によって守られているということに気付かされました。「災害時における港湾事業者」の講演では津波の悲惨さ、そしてなにより原発の危険性、リアルな声を聞け本当に言葉もでませんでした。この講演を自分の糧とし僕自身なにができるかわかりませんが、災害時の避難経路、避難場所をしっかりと把握しておこうと思いました。懇親会ではみんなでお酒を酌み交わし、部屋飲みでは各地方の人と交流を深めとても有意義な時間を過ごせ、これが青年部の良いとこだなと改めて実感しました。

この 3 日間中央本部の方々をはじめ、参加された全国の全港湾青年部の皆様ありがとうございました。またどこかで会った時はよろしくお願いします。